



鹿島(1959年8月30日撮影): 宮本常一『私の日本地図 第4巻 瀬戸内海 I 広島湾付近』未来社, 2014年, 178頁

第71回日本人口学会 公開シンポジウム

瀬戸内の環境と人口(ヒトと動植物):

新たなPopulation Studyを求めて

2019年6月1日土曜日 13:30-16:30

香川大学幸町キャンパス 研究交流棟5F 研究者交流スペース

通常, Populationは, 日本語では人口と訳しますが, その言葉は人間の数だけを示すものではありません。ヒト以外にも動植物特に動物や魚類の個体数を問題にします。つまり, ヒトと動植物の数の重さ = 個体群 = Population の研究に関して, 瀬戸内の環境と人口に焦点を絞り, 新たな問題提起ができればと考えております。

基調講演:

村山聡(香川大学教授)(環境史・経済史)

「瀬戸内で生きることと生活様式の転換期」

田中文裕(元岡山県水産課長・NPO法人里海づくり研究会議事務局長)(魚類学・水産全般)

「瀬戸内の魚介類と漁業と生態系」

話題提供:

中西正光(香川県環境森林部環境管理課 里海グループグループリーダー・課長補佐)「里海プロジェクト」

パネルディスカッション:

ディスカッサント

中澤港(神戸大学教授)(人類生態学)

「人的資源から考える」

影山純二(明海大学教授)(生物経済学)

「漁業資源から考える」

原直行(香川大学教授)(地域活性化論)

「観光資源から考える」

公開シンポジウム・プログラム詳細

日時：2019年6月1日土曜日, 13:30-16:30

場所：香川大学幸町キャンパス 研究交流棟5F 研究者交流スペース

組織者： 村山聡（香川大学教育学部/ICEDS・教授）

司会： 寺尾徹（香川大学教育学部/ICEDS・教授）

第1部：13:30-14:55

・趣旨説明：13:30-13:35

・基調講演1：13:35-14:10

村山聡（香川大学教授）（環境史・経済史）

「瀬戸内で生きることと生活様式の転換期」

・基調講演2：14:10-14:45

田中丈裕（元岡山県水産課長・NPO法人里海づくり研究会議事務局長）

（魚類学・水産全般）

「瀬戸内の魚介類と漁業と生態系」

・話題提供：14:45-14:55

中西正光（香川県環境森林部環境管理課 里海グループ グループリーダー・課長補佐）

「里海プロジェクト」

[休憩：14:55-15:15]

第2部：15:15-16:30

パネルディスカッション：

・ディスカッサント

中澤港（神戸大学教授）（人類生態学）

「人的資源から考える」

影山純二（明海大学教授）（生物経済学）

「漁業資源から考える」

原直行（香川大学教授）（地域活性化論）

「観光資源から考える」

参考文献：

宮本常一『私の日本地図：宮本常一著作集別集』全15巻, 未来社 (2008年3月より刊行)

第4巻『瀬戸内海I 広島湾付近』未来社, 2014年7月1日 (初版 1968年5月15日)

第6巻『瀬戸内海II 芸予の海』未来社, 2011年2月25日 (初版 1969年6月10日)

第9巻『瀬戸内海III 周防大島』未来社, 2008年3月31日 (初版 1971年3月30日)

第12巻『瀬戸内海IV 備讃の瀬戸付近』未来社, 2015年1月30日 (初版 1973年7月1日)

瀬戸内海研究会議編『瀬戸内海を里海に—新たな視点による再生方策—』恒星社厚生閣, 2007年1月20日